

子供の町 だより

創刊：昭和 24 年 11 月
発行：社会福祉法人 子供の町
児童養護施設 子供の町
児童養護施設 エンジェルホーム
地域小規模児童養護施設 菜の花
住所：埼玉県春日部市西金野井 337 番地
電話：048-746-0206
FAX：048-746-9215
HP：<http://kodomonomachi.jp/>



ご挨拶

「多様性の尊重」

社会福祉法人 子供の町
理事長 齊之平伸一

謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年も、多くの方々よりクリスマスケーキなどの菓子食品、おもちゃ、生活用品、マスクなどの衛生用品、本、学用品、チケット、バルーンアートのワークショップ、様々なボランティア、イベントなど物心両面のご寄付ご支援をいただき誠に有難うございました。心よりお礼申し上げます。

さて、世界では紛争が絶えません。国、人種、宗教の違いから、自分が正しいと主張し、相手を差別、抑圧すると争いに発展します。「違い」、「多様性」を認め、尊重する姿勢が必要と思います。

職場でも、多様性を認める「ダイバーシティ」の推進が大切です。

男性正社員中心から、女性、若手、シニアも同じように活躍できる組織が求められています。

そのためには、お互いに助け合う職場風

土をつくる活動を推進したいと思います。

2020年から始まった新型コロナウイルス感染は現在も続いており、職員の皆様には多大なご尽力をいただきました。深く感謝申し上げます。

一日も早く、新型コロナウイルス感染が終息し、再び安穏な日々に戻ることを祈っております。

本年も引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

「2023年を迎えて」

社会福祉法人子供の町
会長 田中 文男

新しい年の訪れ。以前にも書きましたが私は好きです。古い年のことはさりと忘れてしまう。ともかく気分を変えて新たな目的にスタートできる。それだけで楽しくなります。

八十九歳の私が言うのですから大丈夫。と、書き出しましたが今年もコロナには十分注意をしましょうね。

あ、電話がなりました。出てみると長い間

施設長などやって下さった N さんからです。いま石垣島で生活をしています。そこからの電話。新年の挨拶もそこそこに「ここに卒園生がいます」といって代わってくれました。なんと幼い時から子供の町で生活していた A 君。ガンバリ屋さんで、後援会の奨学金で文教大学に入学。優秀な成績で卒業。埼玉県のむずかしい教員の試験に合格。今は小学校の教員をしている彼。たしか学年主任をやっていると聞いたような気がします。新年なので石垣島の N さんのもとに遊びに来たそうです。

卒園生と元職員との交流。嬉しくなりました。いつまでも続いてくれたらいい。でもそういう交流すらできない卒園生も沢山いるはず。そういう人達のためにも何か出来ることがあるだろう、サポートしなければいけないなと思いました。

電話が終わったらまた電話。親しくしている新聞記者からです。山の遭難事故についての情報を伝えてくれました。

その彼とよく話をするのが、「まさか！」ということです。

「まさか、植村さんが…」とか「まさか、あんなところで…」という会話。私が高尾山で 転んだら当然！と言われそうですが…。そこで私達の施設でも今年は「まさか！」に注意したいと思います。

「外出していると思った！」「帰ってきていると思った！」「仲よし同志だから大丈夫だと思った。まさか！」に注意して、この一年をご一緒したいですね。

逆にまさかで良いのは、「あの子があそこに入社できた！」「あの高校に受かったよ」と嬉しい便りだけ。

「まさか」をもうひとつ。私もコロナと仲

良くしました。一週間入院。無事に退院しました。今ではとても元気です。

来月は海外に出張の予定もあります。それよりも「子供の町」のために私は何が出来るか。それを常に考えサポートしたいと思います。また、みんなで食べ歩きもしましょう。

ここまで書いたらまたも友人から電話。

「JR の乗りつぶし、今年こそやったら?! むろん、零からのスタートで」

誰か、施設の子をサポートに同行して貰いましょうか。

やると決めたら終わりまでやりますから。最後になりますが、私は「いじめと暴力」は大嫌いです。

皆さんは、みんな仲良くこの一年を過ごしてくださいね。



「働きやすい働きがいのある

子供の町に」

子供の町 施設長 坂本仁志

新年明けましておめでとうございます。コロナ禍の新年も 3 回目となり、感染対策を講じながらの生活が日常になりました。オミクロン株の流行以降、子供の町でも児童、職員に感染者が発生して、一時的に寮の閉鎖を行なうなど、我慢の生活を強いられるとともに施設全体で協力体制のもと乗り切っている状況です。幸いに感染者は、症状も軽く済み回復していることが何よりです。今年も引き続きコロナ対策を続けていくこととなりますが、子どもたち職員にとって笑顔で過ごせる時間が多くあってほしいと願っています。

さて現在、子どもに関わる法律や制度が大きく変わろうとしています。こども基本

法の施行や子ども家庭庁の設置が令和 5 年 4 月から開始されます。その目的は、「次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、こどもの心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その権利の擁護が図られ、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、こども政策を総合的に推進する。」というもので、少子化の中、かけがえのない子どもたちを社会全体で大切に育てていこうとする変革と期待しています。

法律や制度の整備も大切なことですが、現在、児童養護施設にとって子どもたちの養育を担っていく職員の確保が何よりも重要な課題となっています。埼玉県児童福祉施設協議会では、人材確保委員会を設置して県内施設が協力し合い職員採用に向けて説明会や相談会を開催しています。しかし年々、採用応募者が減少している印象です。また一人の職員が辞めてしまうことは、慕っていた子どもたちにとっては、計り知れないショックで多大な影響が残り、精神的に不安定になってしまい、その子どもたちを支えていく残った職員への負担も増大することとなります。もちろん辞めていく職員にはそれぞれの個人の事情があり、やもう得ないのですが、職員が児童の支援に疲弊して辞めていくことを防ぐためにも、頼れる先輩職員の存在が必要であり、それを実現するには、できる限り長く働いていけるよう環境を整えていくことが必要と考えます。

子供の町では「次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主

行動計画」を策定しました。目標は職員の勤続年数を伸ばすことです。取り組み内容として、「職員間のコミュニケーションを活発にする場を増やす」「メンター制度の導入」「有給休暇の取得の調整」の 3 つを掲げました。コロナ禍になって、なかなか職員同士の交流の機会が難しい中、働きやすい職場づくりに向けて取り組んでいく必要があります。この計画の実現の延長線上に「ここで働いてみたい」という魅力ある施設になっていくものと思います。子供の町の理念である「職員がここで働いてよかったと思える施設づくり」に向けて、「スマイル」を心掛け、細かな情報も「シェア」しあい、子どもたちとの「ライフ」を大切にし、子どもたちの気持ちに「寄り添う」姿勢で、職員と一緒に取り組んでいきたいと考えています。

「新しい年の始まり」

エンジェルホーム 施設長 西村洋平
新年あけましておめでとうございます

皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年はお力添えいただき誠にありがとうございました。

今年も子どもたちへのより良い支援を継続できるよう、職員一同努めて参ります。皆様のより一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます

さて、新しい年の幕開けとなりますが、受験を控えた子どもたちにとっては、これからが正念場となります。中 3 生たちは概ね志望校を定めることができ、あとは目標に向けて努力を続けるのみとなっています。高 3 生のうち、数名は大学等への進学を志望しており、すでに進学先が決定している

子も出てきました。

近年、奨学金の拡充が行われ、児童養護施設の児童については、日本学生支援機構より給付型の奨学金を受給できるようになりました（成績の要件等は有）。また、就学支援新制度による学費の減免がセットになり、この奨学金の給付があれば、学費は概ね払えるという状況が整いつつあります。

しかし、問題となってくるのが住む所と生活費、そして大学等を継続することができるかということです。

アフターケアに国全体として力を入れ始めているところであり、子供の町・エンジェルホームでもアフターケアを担当する専門職、自立支援担当職員の配置をすることが出来ました。これまでは受け身になりがちであったアフターケアを、積極的に施設から連絡を取り合い、状況を確認していくことが出来るようになってきました。

子どもたちが将来に希望を持ち、就職するにしても、進学するにしても安心して生活を送り、仕事や勉強に励むことが出来る制度と、いつでも帰ってきて相談することが出来る施設体制を整えていくことが非常に重要であると感じています。

まずは私たちが出来ることから。

いつでも帰って来て相談できる場を作るのは、今いる子どもたちとの良好な関係の積み重ねだと思います。

職員の皆さんの日々の積み重ねに感謝しながら、子どもたちの将来を楽しみに見守っていききたいと思います。



職員寄～今年の抱負～

「今年の抱負」

エンジェルホーム 6 寮 西井実優

就職からもうすぐ 1 年が経つため、2023 年は日々の業務を効率的かつ完璧に行うことに加え、子どもの気持ちに寄り添いながら働いていきたいです。業務に慣れ、出来ることが多くなりましたが、時間がかかってしまったり、忘れてしまったりすることが多い 1 年でした。業務の効率を上げることで、気持ちの面でも余裕が生まれ、子どもとの関わりの時間を多く持つこと、普段行き届かないところまで意識を向けることが出来る考えるからです。同時に、効率だけを考えるのではなく、業務の未達成を防ぎ、やり残しが無いよう完璧に行うことも意識していきたいです。2022 年は日々の業務を行うことで精一杯になってしまい、子どもの気持ちに寄り添うことはあまりできていなかったように感じています。そのため、関係づくりが思うようにできず、信頼関係が不十分な状態であったと思うため、出来る限り子どもの気持ちに寄り添い、信頼関係を築いていきたいです。

「2023 年の抱負」

子供の町 たんぽぽ 當摩哲太

2022 年が終わり、私自身も子供の町職員としての 2 年目も終わりが近づき、3 年目に向かう年となりました。

その 3 年目を迎える 2023 年の抱負ですが、笑顔を大切にしたいと思っています。と言いますのも、過ぎていった

2022 年もコロナは収束せず、国内外でも暗い話題が多く、明るい話題は探さなければ耳には入ってこない印象がありました。

子どもたちはそういった暗い話題などあまり気にせず過ごしているとは思いますが、

「笑顔でいればいいことあると思えたらそれが良いことの序章です」(Mr.children の PADDLE から引用) という歌詞があるように、良いことが悪いこともよりもひとつでも多くなる年になればいいなという願いも込めて、朝、子どもたちにも職員にも笑顔でおはようと声をかけることをはじめ、子どもたちの前でも、私的な場でも無理なく明るく笑顔で過ごせるようにしていきたいと思います。

子どもの作文

「冬休みの思い出」

子供の町 たんぽぽ 小 3 K・T

たんぽぽでクリスマス会をやったのが楽しかった。ケーキをいっぱい食べてよかった。



クリスマスプレゼントでポケモンカードのデッキをもらえてうれしかった。あとはお年玉でポケモンカード買ったのもうれしかった。今年は、まずはくつをしまえるようにがんばりたいです。

「今年がんばること」

地域小規模 菜の花 小 4 N.O.

わたしは、年まつに菜の花にきました。菜の花に来てがんばりたいことは、この生活になれることです。菜の花ではお出かけが多いからうれしいです。けど菜の花から

駅は遠いです。ごはんはおいしいです。

学校に行くのはきんちょうするけど、少しずつつながりたいです。学校では、勉強をがんばりたいです。

勉強は少しおくらしているかもしれないので、たくさんがんばって少しずつ追いつきたいです。友だちもたくさん作りたいです。

「中学生の最後」

エンジェルホーム 9 寮 中 3 T.Y.

僕たち中学三年生にとって冬休みは入試に向けての準備期間です。入試は人生を左右するテストです。二学期が終わり冬休みになります。楽しい事がたくさんありますが勉強もたくさんやり、入試への対策をして挑んで合格できるように

頑張っていきたいと思います。冬休みが終わると中学校生活最後の学期が待っています。



三学期になると三年生は忙しくなります。入試も入ってくるので大変です。入試をのがすとあとがないので入試で 100%出すために知識を蓄え勉強するのもいいけどあまり無理をすると疲れて寝てしまうかもしれないのでほどほどに頑張っていきたいと思います。

ユニット・寮を紹介します

菜の花

菜の花は 11 月、12 月に新たにお友だちを迎えた、6 人定員の地域小規模児童養護

施設です。現在は小学生 2 人、中学生 3 人、高校生 1 人の 6 人で生活をしています。平成 25 年 4 月に開設されて、今年で 11 年目を迎えました。

コロナが流行する前は、食事はみんなでリビングに集まり和気藹々のご飯を食べていました。流行後は、コロナの感染を考慮して各自部屋に食事を持って行き食べる形となっています。平日は朝、夕、休日は朝、昼、夕と職員が食事を作っており、時間を見つけては子どもと一緒に作ってくれる所が、家庭的で菜の花の魅力となっています。また、週末の買い出しや長期休暇中は子どもと一緒に食材の買い物に行き、好みなどを聞きながら一緒に買い物をしたり献立を考えたりすることが出来ます。

小規模であるため、子どもたち同士の距離が近く、喧嘩が絶えずに悩むこともありますが、休みの日はみんなでお菓子等を作ったりしながら楽しく生活をしています。

あおば・わかば

「あおば・わかば」は、子供の町の男児ユニットです。

「あおば」には、幼稚園年少から高校 2 年生までの 7 名、「わかば」には、小学 1 年生から高校 2 年生までの 6 名、計 13 名が在籍しています。

自由時間にはサッカーをする子、かくれんぼをする子、カードゲームやおセロ・将棋をする子とさまざまな遊びを楽しんでいます。あおば・わかばの子ども達は大人しいねと言われることもありますが、ユニット内でダンスをしたり、歌を唄ったり、時には変

顔や一発ギャグを披露したりとユーモアのある一面も見せてくれます。

冬休みにはみんなでクリスマス会をしたり初詣に行ったり、ボーリングをしたりと賑やかに過ごしました。まだコロナ禍で活動が制限されることがありますが、その中で楽しみを見つけ今年もたくさんの体験ができたと思います。

今年のおおば・わかばの目標をいくつか紹介します。

- ・字が上手くなるように練習を頑張る（小学 2 年）
- ・中学校で友だちを作る（小学 6 年）
- ・部活で県大会に出場したい（中学 1 年）
- ・子どもたちとの時間を大切に過ごしていきたい（1 年目職員）
- ・先日の検診で少し体を絞れたら良いねと言われたので、子ども達と一緒に体を動かしたい（2 年目職員）

今年もみんな一緒にさまざまな体験ができるよう“健康第一”をモットーに手洗いうがい消毒を徹底し、あおば・わかば一同元気に過ごして参りたいと思います。

9 寮

9 寮は、エンジェルホームの男児寮です。9 寮にはパワフルな小学 2 年生から高校 2 年生までの 15 人が暮らしています。喧嘩も多いですが、みんな元気いっぱいです。そんな 9 寮の職員を紹介したいと思います。

まずは清水主任。9 寮の職員さんの中で一番の古株。なんと 9 寮 6 年目。いつもニコニコ笑顔だけど怒ると怖い。お米を炊き忘れることがよくあるけど 9 寮を引っ張っ

てくれています。

次は宮澤さん。宮澤さんは 9 寮 3 年目。私のつまらない話をいつも笑って聞いてくれるとっても良い人。子どもと一緒にふざけあっている姿はとても微笑ましくなります。けど怒ると怖い。お米は炊き忘れません。

3 番目は及川さん。及川さんも 9 寮 3 年目。私と一緒に号室を担当しています。掃除をしっかりとやってくれて買い物も行ってくれるので私は甘やかされています。いつも元気一杯で子どもに接しています。けど怒ると怖い。ご飯食べるのが早いです。

4 番目は内藤さん。今年度から 9 寮に入った期待の新人。ポケモンとかゲームに詳しい。得意料理はナスの煮浸し。覚えることはたくさんあって大変だけど一緒に頑張ろうね！ちなみに怒っても怖くはありません。

そして、最後は私、荒井です。9 寮を支えるスーパースター。健康診断は痩せすぎで C 判定になりました。天才的な発想で 9 寮を盛り上げています。おっと、横から清水主任が睨んでいるのでここらへんでやめておきます。とても愉快的な 9 寮の職員さんを見なさんよろしくお祈りします！



あれこれ



◆9 月 13 日<卒園生の半年後>

今年 3 月に卒園した A 君が、就職した会社からの寄贈品を持って上司と来園しまし

た。しっかりとした挨拶や言葉遣いに、立派な社会人になっていることにびっくりし、会社の車を慎重に運転して帰る姿に嬉しくなりました。

◆10 月 9 日<今年も「秋祭り」>

8 月に予定していた夏祭りですが、施設内にコロナ感染が発生してしまい、今年も 10 月に「秋祭り」を開催しました。開会の後、ダンスクラブのステージ、子ども神輿が元気に練り歩き、ゲームコーナー開始したところで、空から雨粒が・・・、段々と雨足が激しくなり、途中で中止になってしまいました。雨空を見上げ、来年こそは夏祭りをやりたいと思ったしだいです。



◆11 月 18 日<73 年の歴史>

B 大学大学院 C 様の研究依頼で、第二次大戦終戦直後の「移民」として海外へ渡った戦災孤児たちを取り巻く状況の訪問調査に協力しました。改めて開所当時から写真や資料を紐解く機会となり、「子供の町」の歴史を思い知りました。

◆12 月 27 日<東京上空散歩>

ノエビア アビエーション様のご招待により、ヘリコプターによる東京遊覧に児童 5 名職員 2 名が参加しました。快晴の空、ヘリコプターによる東京散歩は、これまでに体験したことのない異次元の散歩でした。

◆<多くのサンタさんに感謝>

今年もクリスマスに向けて多くの方々から、ケーキやプレゼントが届きました。ひとり一人の子どもたちへの気持ちに感謝するとともに、皆さまの思いを子どもたちにも伝えていきます。



R4 年 9 月～R5 年 1 月に寄付金・寄付品を頂いた方々（順不同・敬称略）

荒木嗣則 池田樺威 石黒秀二 石束智夫 石橋信夫 和泉英仁 井上清美
岩本裕行 内田ひとみ 遠藤邦子 河島丘征 後藤秀孝 小西竜平
佐藤明宏 鈴木正哲 鈴木美子 君塚歯科医院 幸ノ池商店 須永十三男
高橋優 高橋奈緒子 田中文男 田中芳郎 土屋尚久 中川優子 中嶋都子
中条紀孝 中田弘 中本なほ子 成竹雅哉 西島雅司 長谷川浩一
ハッピーベア 早瀬三洋 原後綜合法律事務所越谷事務所・弁護士西村友希
広松三和子 フードバンク 古谷明美 細井説子 ほっともっと 正木宏和
増田均 松川美奈子 松島康生 松本伸一郎 峯直之 鷺谷みさ江 山田茂
森田奈々花 吉田武志 メンウェンディ 渡邊大智 コストコ新三郷倉庫店
全国シャンメリー協同組合 全ヤオコー労働組合
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団 埼玉りそな銀行 埼玉県更生保護女性連盟
埼玉県食鳥肉販売業生活衛生同業組合 埼玉県書店商業組合
埼玉県内ヤクルト販売会社 埼玉県遊技業協同組合 東部ブロック親睦会
スタイリングライフホールディングス 内牧夢らんど 平方夢らんど
かすかべ夢らんど 武里スポーツ館 ドコモショップ越谷店 日本鏡餅組合
ヨーク労働組合 フィリップモリスジャパン合同会社
一般社団法人 ゼブラ社会貢献支援協会 一般社団法人 日本出版クラブ BNR
合気道錬身会春日部道場 ポーイスカウト春日部第 7 団 (株)UYEKI (株)YTSUN
(株)アステップ (株)イシモ建設(株)壺番屋 MCM のめぐみ(株) (株)ゴルフ・ドゥ
(株)埼玉新聞社 第一生命保険(株) (株)デリモ (株)チュチュアンナ 1%クラブ (株)並
木樹脂 ネットトヨタ東埼玉(株) (株)ノボダ 浜友観光(株) 楽園大宮店
ピーアール(株) (株)ブライトファーム大久保 (株)フレーベル館 (株)丸山自動車
(株)みのや (株)レバラント ヤマザキビスケット(株) (有)沖田土木
ライフエンタープライズ(株) (有)伸和物流 (有)東武管工設備 (有)萩原製作所

ただいま 社会福祉法人 子供の町では、職員の募集をしております。

ご興味のある方の見学も随時受付しております。

お気軽にお問合せ下さい。

TEL 048-746-0206

<http://kodomonomachi.jp/>

